

**学術講演会・研究発表会・公開講座**

「学術講演会」の開催について

1. 日 時：2012年11月22日（木）15:00～16:30
2. 場 所：弘前大学コラボレーションセンター 8階 会議室
3. 演 題：哺乳動物の非コード・アンチセンスRNA
4. 演 者：清澤 秀孔 博士（高知大学医学部 特任准教授）
5. 主 催：機関研究「RNAから見た生命システムの新視点」、農学生命科学部研究推進委員会

**問い合わせ先**：弘前大学農学生命科学部 牛田 千里  
E-mail: [cushida@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:cushida@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「弘前大学地域社会研究会」開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、「地域社会研究会」を下記により開催いたします。地域社会にかかわる研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。  
多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年11月24日（土） 13:00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大4F  
大学院地域社会研究科演習室
3. 内 容：早川 和江（弘前大学大学院地域社会研究科1年）  
「地域の食材を活用したユニバーサルデザインフードの開発」  
葛西 未央（弘前大学大学院地域社会研究科1年）  
「完新世以降の日本海沿岸北部における沖積平野発達過程の考察」
4. 対 象：一般の方、学生、教職員

**問い合わせ先**：弘前大学地域社会研究会事務局 竹ヶ原 公  
E-mail: [takegahara2002@yahoo.co.jp](mailto:takegahara2002@yahoo.co.jp)



「復旧・復興に向けた生業・雇用問題」開催のお知らせ

東日本大震災から1年8ヶ月が経過し、被災地の復旧・復興に向けた生業・雇用が深刻な問題に

なっています。このたび、労働法を専門として被災地の復興活動にあたられている福島大学の今野名誉教授とともに、当該問題の論点を講演で学び、東日本大震災前後の労働・福祉法政策的な課題などについて、意見交換を行います。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

1. 日 時：2012年11月25日（日）14：00～16：00（予定）
2. 場 所：弘前大学人文学部棟4階多目的ホール
3. 内 容：第一部 講演  
今野 順夫（福島大学名誉教授、元学長）  
「復旧・復興に向けた生業・雇用問題」  
  
第二部 意見交換
4. 主 催：弘前大学人文学部（平成24年度学部長裁量経費「東日本大震災後の東北地方のQOLと労働福祉法政策研究」）

\*入場無料、事前申込不要、学内外問わず参加歓迎

**問い合わせ先**：弘前大学人文学部 飯 考行（いい・たかゆき）

電 話：0172-39-3958

E-mail：[iit@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:iit@cc.hirosaki-u.ac.jp)

#### 「知財塾」開催のお知らせ

このたび、知的財産本部では、本学の客員教授である弁理士を講師としてお迎えし、下記のとおり知財塾を開催いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

#### 1. 概 要：

##### ◇医学編◇

日 時：2012年12月3日（月）16：00～17：20

場 所：弘前大学大学院医学研究科基礎棟1階 大会議室

内 容：「知っておきたい化学・ライフサイエンス特許の基礎知識」

講 師：辻田特許事務所 弁理士 辻田 幸史 氏

##### ◇初級編◇ ◇Topics編◇

日 時：2012年12月4日（火）9：00～12：00

場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大2階 セミナー室

内 容：◇初級編◇

「はじめての特許出願～まず、何を？次にどうする？～」

講師：富沢特許事務所 弁理士 富沢 知成 氏

◇Topics編◇

「大学等に身近な知財を中心とした裁判例」

講師：タニダ国際特許事務所 弁理士 谷田 拓男 氏

2. 主 催：弘前大学、知的財産本部、地域共同研究センター

3. 共 催：学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム、ひろさき産学官連携フォーラム

4. 対 象：本学の教職員、学生、一般の方

5. 参加費：無料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、11月26日（月）までに、下記連絡先までお申し込みください。

**問い合わせ・申し込み先：**弘前大学知的財産本部

電 話：0172-39-3178

F A X：0172-36-2105

E-mail：[chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会  
平成24年度 第2回緊急被ばく医療研修報告会」開催のお知らせ

緊急被ばく医療研修報告会は、「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」の一環として、国内外の緊急被ばく医療研修に参加して得られた情報を公開し、被ばく事故および被ばく医療の最新情報を人材育成教育や研究に役立てる目的で開催しています。最後となる今回の報告会では、海外の原子力発電所事故の現状視察と、保健学研究科が外部発信している緊急被ばく医療人材育成プロジェクト現職者研修を取りあげました。

チェルノブイリ視察研修は、原子力発電所爆発事故発生から24年経過した現状の調査により、事故後の取り組み状況を福島第一原発事故への保健学研究科としての具体的な支援方法に役立てる目的で実施されました。

一方、緊急被ばく医療人材育成プロジェクト現職者研修は、主として現職の看護職者及び診療放射線技師を対象に緊急被ばく医療に必要な知識を習得、連携・協働しながら適切な対応かつ安全管理ができる医療職者を育成することを目的で実施しており、これまで試行錯誤によって内容の充実を図ってきました。

本報告会を通して海外の原子力発電所事故における事故後の取り組み状況を把握し、また現職者教育の成果と問題点に関する情報を共有することが、ご参加のみなさまの資質向上に貢献することを期待しています。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時：2012年12月6日（木） 17:40～18:45

2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟6階 第24講義室

3. 対 象：弘前大学教職員、弘前大学学部学生、弘前大学大学院生、弘前大学医学部附属病院職員、青森県内医療従事者、その他  
※参加費無料。事前のお申し込みは不要です。

4. プログラム：

・司会 石川 孝 講師（生体機能科学分野）

・演題発表

《座長：柏倉 幾郎 教授（放射線生命科学分野）》17:40～18:20

(1) 「チェルノブイリ」の視察を終えて -ウクライナとベラルーシの現状-

平成24年度  
第2回  
緊急被ばく医療研修報告会

日時 平成24年12月6日(木)  
17:40~18:45  
場所 弘前大学大学院保健学研究科  
第24講義室(総合研究棟6階)

プログラム

司会 石川 孝(生体機能科学分野)

座長 柏倉 幾郎 教授(放射線生命科学分野)

1. 「チェルノブイリ」の視察を終えて  
-ウクライナとベラルーシの現状-  
則包 和也 講師(検査保健学分野)

2. チェルノブイリ視察研修  
-人体影響とバイオドシメトリを中心として-  
真里谷 靖 教授(放射線生命科学分野)

座長 細川 洋一郎 教授(放射線生命科学分野)

3. 「現職者研修」のこれまでと今後の課題  
中村 敏也 教授(生体機能科学分野)

講師 対馬 均 保健学研究科長

無料  
事前申込の必要は  
ありません

【主催】弘前大学大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会  
【お問い合わせ】保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会 企画部門 石川 孝 室39-5936

- 則包 和也 講師 (障害保健学分野)  
(2) チェルノブイリ視察研修 – 人体影響とバイオドシメトリーを中心に –  
真里谷 靖 教授 (放射線生命科学分野)

《座長：細川 洋一郎 教授 (放射線生命科学分野)》 18:20～18:40

- (3) 「現職者研修」のこれまでと今後の課題  
中村 敏也 教授 (生体機能科学分野)

・講評 對馬 均 保健学研究科長 18:40

5. 主催：弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

**問い合わせ先：**弘前大学大学院保健学研究科 石川 孝  
電話：0172-39-5936  
E-mail：[ti3054@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ti3054@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「学術講演会」のお知らせ

- 日時：2012年12月10日 (月) 16:30～17:30
- 場所：弘前大学理工学部2号館 10階 1005号室
- 講師：金子 元 (はじめ) 氏 (日本大学理工学部、日本学術振興会特別研究員PD)
- 題目：代数的数の2進展開について
- 内容：代数的無理数の2進展開に現れる数字は、数値実験の結果を見てもランダムであると予想されるが、証明されている事実は非常に少ない。本講演では、数字の変化の回数を解析することにより得られた新しい結果を、非専門家や学部学生にもわかり易く解説する。

**問い合わせ先：**弘前大学大学院理工学研究科 小松 尚夫  
電話：0172-39-3534  
E-mail：[komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「弘前大学大学院保健学研究科  
緊急被ばく医療検討委員会 平成24年度 第2回講演会」のお知らせ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、続いて発生した福島第一原子力発電所の事故により、原子力災害における防災体制の見直しが行われています。

平成11年9月30日の東海村JCOのウラン加工工場における臨界事故を受けて制定された、「原子力災害対策特別措置法」に基づき制度が整えられてきましたが、今回の事故により、構築されてきた防災体制では対応出来ないような事態に至っており、福島県の居住制限区域においては、現在に至っても帰宅できない状況が続き、避難を余儀なくされているのが現状です。また内閣府原子力安全委員会では平成23年10月には緊急時防護措置準備区域 (UPZ) を定め、防災対策を重点的に実施する地域を30キロに拡大しています。

青森県においては、平成23年度の「原子力防災対策検討委員会」により、防災マニュアル作成に向けた検討及び広域避難、モニタリング、放射性物質拡散予測システム、防災訓練などの原子力防災に関する項目への提言も行われ、現在では、UPZ圏外への避難に対する調整も進められており、11月3日には重点区域を30キロ圏と想定した防災訓練も行われました。

そこで、今回、青森県における緊急被ばく医療の変更点や今後の方針を知る機会となるよう、青森県健康福祉部医療業務課業務指導グループ主幹 増田氏にご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年12月11日（火） 16:30～18:00（質疑応答を含む）
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟 2階 第16講義室
3. テーマ：「青森県緊急被ばく医療について」
4. 講 師：青森県健康福祉部医療薬務課薬務指導グループ 主幹 増田 大介 氏
5. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

※事前のお申し込みは不要です。どなたでもご参加できます。50名程度まで。

6. 担当者：弘前大学大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会 企画部門

**問い合わせ先：**弘前大学大学院保健学研究科健康支援科学領域 北宮 千秋  
電話・FAX: 0172-39-5945  
E-mail: [chiaki@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:chiaki@cc.hirosaki-u.ac.jp)

平成24年度 弘前大学公開講座  
「大改造!!写真でビフォーアフター—デジカメ写真を編集しよう—」の開催について

1. 日 時：2012年12月15日（土）  
13:30～16:00
2. 場 所：弘前大学総合情報処理センター  
1階 教育用第1実習室
3. 内 容：フリーソフト（無料で配布されているソフトウェア）である“GIMP”を使用して、デジタルカメラで撮影した写真の編集技術を学びます。
4. 参加費：無料（パソコン等もこちらで準備いたします。）
5. 対 象：小学校高学年以上
6. 申込方法：電話又はE-mailで12月7日（金）までに下記申込先までお申込みください。  
E-mailでお申込みの場合は、「氏名、住所、電話番号」をお知らせください。

**問い合わせ・申し込み先：**弘前大学総合情報処理センター  
電 話：0172-39-3721  
E-mail: [koukai-kouza@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:koukai-kouza@cc.hirosaki-u.ac.jp)



「平成24年度弘前大学国語国文学会大会」開催のお知らせ（再掲）

今年度の弘前大学国語国文学会の大会を、以下の要領で行います。  
本学の教員が発表・講演します。

会員以外の来聴、大歓迎ですので、皆様奮ってご来場ください。また学生の聴講も可能ですので、関心のある学生にご案内ください。

1. 日 時：2012年11月18日（日）13:00～

2. 場 所：弘前大学人文学部 4階 多目的ホール

3. プログラム：

13:00～ 開会の辞 弘前大学国語国文学会会長  
児玉忠先生

13:10～ 研究発表

・成田真一氏（卒業生）

〔題目〕小西甚一著「日本文芸史別巻、日本文学原論」についての一考察  
——解釈・批評の問題に対する存在論の貢献をめぐって——

14:00～ ・石山裕慈先生（弘前大学教育学部）

〔題目〕「字音仮名遣い」の現状について

15:10～ 講演

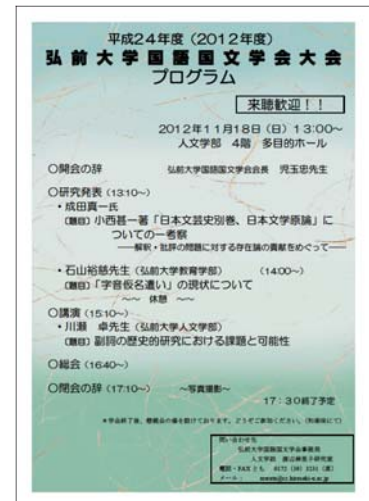
・川瀬 卓先生（弘前大学人文学部）

〔題目〕副詞の歴史的研究における課題と可能性

16:40～ 総会

17:10～ 閉会の辞

写真撮影などの後、17:30終了予定



\*会員以外の来聴、大歓迎です。事前の申し込みは不要です。

\*懇親会は「和楽味」にて。懇親会は事前にお申し込みください。

問い合わせ先：弘前大学国語国文学会事務局 人文学部 渡辺 麻里子

電話・FAX：0172-39-3231

E-mail：[mwata@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:mwata@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「平成24年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程・後期課程  
大学院進学ガイダンス」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科では、2013年1月26日（土）に博士前期課程及び博士後期課程の選抜試験を実施しますが、これに先立ち、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、下記の日程で大学院進学ガイダンスを企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時：2012年11月29日（木） 19:00～19:30（予定）

2. 場 所：【弘前会場】弘前大学保健学研究科2階 第15講義室

【八戸会場】弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）

※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

3. 内 容：（1）大学院概要説明

（2）募集要項説明

（3）質疑応答及び個別相談

4. 参加申し込みについて：

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、11月21日（水）までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

**問い合わせ・申し込み先：**弘前大学保健学研究科学務グループ

電話：0172-39-5913

FAX：0172-39-5912

E-mail：[jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学大学院保健学研究科生体応答科学研究センター  
市民講演会『放射線による人体への影響～基礎編～』開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科生体応答科学研究センターでは、活動の一環として、毎年市民の皆様を対象に市民講演会を開催しております。今年度は前回に引き続き『放射線による人体への影響～基礎編～』をテーマに、放射線に関する用語や定義、環境中における放射性物質の動きについてわかりやすく説明するとともに、人体の影響に関して現時点で科学的に正しいとされる最新の知見を紹介致します。また、特に不安の大きい「内部被ばく」についても述べる予定です。

多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

1. 日 時：2012年11月30日（金）  
18：00～19：30（質疑応答含む）
2. 場 所：弘前文化センター 中会議室  
（弘前市大字下白銀町19番地4号）
3. 講 師：弘前大学被ばく医療総合研究所 床次 眞司 教授
4. 演 題：「放射線による人体への影響～基礎編～」
5. 定 員：100名程度
6. 参加費：無料
7. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター

※申込みは不要です。参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。

**問い合わせ先：**弘前大学保健学研究科 総務グループ

電話：0172-39-5506

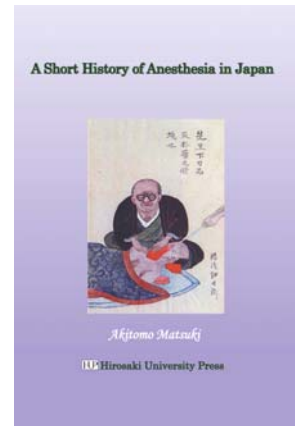


## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

松木明知著「A Short History of Anesthesia in Japan」(B5変型判・227頁・定価4,200円：税込)を出版しました。

本書は日本麻酔科学の200年間の歩みを総説的に述べたもので、邦文はもちろんのこと、英文の著書としても類書はない。日本麻酔科学史は1804年に華岡青洲が乳癌手術を全身麻酔下に行ったのが嚆矢である。半世紀後オランダから吸入麻酔法が伝えられ華岡流の麻酔法は衰退した。明治初期に日本はドイツ医学を採用したが、同国で発達した局所麻酔法がわが国で歓迎された。しかしわが国はドイツ医学のみに目を奪われ、1920年以降イギリスとアメリカで発達した全身麻酔法を無視した。こうしてわが国は太平洋戦争を迎えた。1950年アメリカから医学使節団が来日し、医学部教授たちに最新の医学を伝えたが、彼我の差が最も顕著であったのは麻酔科学であった。以来、麻酔科学の重要性が認識され、1952年に東京大学に最初の麻酔科学講座が開講され、1954年には日本麻酔科学会が創立された。1963年には本邦最初の専門医制度を発足させた。興味あるエピソードも紹介されている。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電 話：0172-39-3168  
F A X：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp) Fax:39-3498、内線：3012